



第191回 糖尿病教育学習研究会 (トップセミナー)
第230回 IIDES糖尿病研究会
第165回 CDE兵庫県連合会研究会
—合同研究会のご案内—



日 時 : 2026年6月27日(土) 14:00~17:15
場 所 : 神戸国際会館8階802・803号室
神戸市中央区御幸通8-1-6 TEL:078-230-3196

プログラム :

14:00~14:15 大塚製薬株式会社 ー情報提供ー

14:15~16:15 (座長: 松下 健次 医療法人社団 仁和会 神野病院 副院長、
NPO法人 国際糖尿病教育学習研究所 理事)

(14:15~15:15)

講演1. 『肥満症の病態と最新の治療動向』

兵庫県立加古川医療センター 生活習慣病センター長 兼 血液浄化センター長・
検査部長・放射線部長 糖尿病・内分泌内科部長 田守 義和 先生

(15:15~16:15)

講演2. 『糖尿病のある人の高血圧治療~診察室の対話からのヒント~』

森内科医院 副院長 森 博子 先生

16:15~17:15 (座長: 芳野 原 先生 医療法人社団 慈恵会 新須磨病院 常任学術顧問 糖尿病センター長、
東邦大学名誉教授、NPO 法人 国際糖尿病教育学習研究所 理事長)

講演3. 『心腎血管合併症予防を見据えた糖尿病関連腎臓病の集学的治療戦略』

神戸労災病院 副院長、総合内科・腎臓内科 部長 佐藤 稔 先生

注) ① 会場とオンライン同時配信によりハイブリッド講演会になります。

② 会場参加者は必ずマスク着用をお願いします。また、発熱がある方は入場をお断りしますので、体温を測定してからお越しください。

(1) 参加費: 2000円

(2) 申込方法: 事務局へご氏名、ご所属、職種、ご連絡先、オンライン参加か会場参加か(オンラインの場合、必要な単位申請先)を明記の上、E-mail(パソコンからの発信可能アドレスをお知らせください)、またはFAXにてお願いいたします。

注) CDEJ更新のための認定単位が必要な方はWeb講習は対象外です。また、日病薬学認定制度の認定単位が必要な方は、本オンラインでは単位対応できません。会場参加でお願いいたします。

(3) 連絡事務局: 特定非営利活動法人 国際糖尿病教育学習研究所 (NPO-IDD)

〒651-1112 神戸市北区鈴蘭台東町7-10-16

TEL:078-591-7515 FAX:078-591-7512

E-mail: yoshino@npo-iddes.or.jp

※ 日医生涯教育講座認定 基礎講座: CC23・1単位、講演1: CC74・1単位、講演2: CC73・1単位 申請中

※ 日本糖尿病療養指導士 認定更新のための研修会(第2群) 1単位 (オンライン参加不可) 申請中

※ 日病薬学認定制度 V-2・2単位 (オンライン参加不可) 申請中

※ 糖尿病療養指導士兵庫県連合会 認定更新のための研修会 2単位

共催: 特定非営利活動法人 国際糖尿病教育学習研究所
糖尿病療養指導士兵庫県連合会
一般社団法人 兵庫県病院薬剤師会
大塚製薬株式会社/ノバルティスファーマ株式会社

オンライン参加の方へ

1. オンライン参加をお申込みされた方へは、参加費振込先を申込メールアドレスにお送りいたします。
(オンライン参加費振込締切日は6月25日まで。振込手数料は各自でご負担願います。入金された参加費については、返金対応いたしませんのでご了承ください。)
 2. 入金確認後、事前登録URLを申込メールアドレスにお送りいたします。
 3. 当日オンライントラブル連絡先：大塚製薬株式会社 窓口 竹内 (TEL:080-2021-7891)
- ※ご連絡いただく「個人情報」は本会運営の目的のみに使用させていただきます。

【認定単位の必要な方へ】(単位取得までの流れ)

- 受講確認のため、受講中に3回キーワードを発表します。必ずメモしてください。
キーワードが全部合致しない場合は、受講したものと認めませんのでご注意ください。
1. 糖尿病療養指導士兵庫県連合会認定に関して
受講後、当日中に3回のキーワード、ご氏名、認定番号、送付先住所を事務局メールアドレスにお送りください。
キーワードが合致した方のみ、参加証(単位申請用)を送付いたします。
 2. 日医生涯教育講座認定に関して
受講後、当日中に3回のキーワード、ご氏名(ふりがな)、所属医師会、医籍番号を事務局メールアドレスにお送りください。
キーワードが合致した方のみ、単位申請いたします。

一抄録

講演1. 『肥満症の病態と最新の治療動向』

田守 義和 先生 兵庫県立古川医療センター 生活習慣病センター長
兼 血液浄化センター長・検査部長・放射線部長 糖尿病・内分泌内科部長

肥満の蔓延は先進諸国のみならず、発展途上国においても大きな社会問題となっています。肥満症は脂肪組織の質的変化と慢性炎症を背景に、インスリン抵抗性や代謝異常を引き起こす全身性疾患であり、過体重はADLを著しく低下せしめるのみならずわが国では2型糖尿病発症の主たる引きがねとなっています。近年は食欲調節ホルモンや腸内環境への理解が進み、GLP-1受容体作動薬やGIP/GLP-1受容体作動薬など新規薬剤が肥満治療の中心となりつつある。本講演では病態の整理と最新治療の実臨床での位置づけを概説します。

講演2. 『糖尿病のある人の高血圧治療～診察室の対話からのヒント～』

森 博子 先生 森内科医院 副院長

糖尿病患者の血圧管理は、合併症予防の要です。本セッションでは、診察室での「対話」から治療のヒントを探ります。高血圧管理・治療ガイドラインが推奨する130/80mmHg未満という厳格な目標達成には、医師と患者の信頼関係が不可欠です。一方的な指導ではなく、日々の生活背景や服薬の不安に寄り添う対話を通じて、最適な薬剤選択や生活習慣の改善を提案します。患者の意欲を引き出し、共に歩むためのコミュニケーションの秘訣を解説します。

講演3. 『心腎血管合併症予防を見据えた糖尿病関連腎臓病の集学的治療戦略』

佐藤 稔 先生 神戸労災病院 副院長、総合内科・腎臓内科部長

糖尿病は動脈硬化性心血管病および心不全の重要な危険因子であり、これら心腎血管イベントを抑制することが糖尿病治療には求められる。心腎血管合併症(心不全、慢性腎臓病、心血管疾患)の予防を見据えた糖尿病関連腎臓病(DKD)の治療は、単なる血糖管理から、心腎保護を最優先とした多角的なアプローチへ転換している。本講演では、心不全治療のキードラッグであるARNI(サクビトリル/バルサルタン)を軸とした、心腎血管合併症予防のための新たな治療戦略について解説する。DKD治療の目標は、腎代替療法の回避に加え、心不全発症・進展の阻止にある。ARNIを含む最新の心不全治療薬を早期から適切に導入し、SGLT2阻害薬等と組み合わせた集学的治療を実践することが、心腎血管予後の改善において極めて重要である。

◇会場案内図(神戸国際会館)

神戸国際会館 会議室802・803号室
(神戸国際会館1F奥の東エレベーターをご利用下さい。)

